

2025 年度 大学院 法学研究科 博士前期課程 入学試験

(学内入学選考 2 月)

1 時限目 専門科目

租税法 試験問題

受験番号	氏名

『租税法』

租税回避の意義とその類型を説明した上で、租税回避の否認について、租税法律主義との関係や対処のあり方について論じてください。また、租税回避に関連する裁判例を取り上げ、その事件に対する裁判所の考え方について論じてください。

解 答 例

近畿大学大学院法学研究科（博士前期）課程

（2025）年度（2）月期

（一般）入学選考

（A専門科目）

科目名（租税法）

解答例はなし

出 題 意 図

近畿大学大学院法学研究科（博士前期）課程

（2025）年度（2）月期

（一般）入学選考

（A 専門科目）

科目名（租税法）

租税法規の解釈及び適用において私的自治の原則との関係で重要となる「租税回避」について基本的な理解を問うものである。

租税回避に関して金子宏『租税法』（弘文堂）などの代表的なテキストを読み込んでその意義及び内容、そしてその否認のあり方においては租税法律主義との関係を理解しているか、また、租税回避に関連して、例えば最高裁平成17年12月19日判決などの裁判例を説明できるかを問うている。